



市議会だより

No. **77**
2024.5.1

かいいなん



2月定例会

—おもな目次—

令和6年度当初予算 6

議案の審議結果 12

一般質問 14

蒼天に泳ぐ

自治会と総務委員会

テーマ6月豪雨災害に対する対応

委員 大量に発生した災害ごみについて、どのようにされたのか。

参加者 市が指定した災害ごみの一次集積所まで運ぶ手段等がなかったため、地域の皆さんや市と相談し、空き地や道路脇等にごみを出すことができた。

委員 災害ごみの一次集積所を閉鎖することとなった時はどうされたのか。

参加者 家からごみを出すだけで精一杯、出すこともできない家が残っており、かなり延長していただいた。被災された方は、ごみを運ばないと整理がつかないため、とにかく運ぶ場所をつくってもらい、道路脇等に溢れたごみも、すぐに取りに来ていただいた。

委員 災害ボランティアセンターと自治会の関係はどうだったのか。

参加者 災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）から、「災

害等により被害を受けた方へボランティアがお手伝いに伺います」というチラシを配りたいとの相談を受けたため、自治会では全戸配付の協力をした。

市内、県内外から来ていただいたボランティアの方々から床下に入り、泥をかきあげ、重たい畳を持ち、軽トラックへ載せてくれたことは、非常にありがたかった。



1月24日開催

猟友会、農業者団体と建設経済委員会

テーマ鳥獣害対策

委員 もともとシカはあまり見かけなかったが、最近はシカを見かけたり、被害を受けたりするか。

参加者 シカは有田の方からだんだん北上して来ているようだ。下津でも山の方で何回か見たり、鳴き声を聞いたりする。多くの被害が出ているとは聞かないが、被害が大きくなるのも時間の問題かと思う。

委員 アナグマについても、有害鳥獣に指定して欲しいという話を聞くが、イノシシ、シカ、アラ

参加者 イグマ以外で被害は出ていないか。露地栽培をしているが、おそらくイノシシやシカではない動物からかなり被害を受けている。断定はできないが、アナグマではないかと思う。

参加者 報償金などはないが、アナグマは捕えても逃がさなければならぬのがネックであると思うので、その点を改善していただくのが、解決策であると思う。

参加者 有害鳥獣の捕獲頭数で一喜一憂するのではなく、農業の産出額に対しての被害額がどれだけ出ているかが重要であり、そこを軸にいろいろ議論していただければと思う。



2月9日開催

すべての人の人権が尊重されるまちへ

議案第1号 海南市人権尊重のまちづくり条例

人権尊重のまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、すべての人の人権が尊重されるまちの実現を図るため条例を制定します。

こんな質問がありました

問：この条例の制定により、市民、事業者に何を求めているのか。また、罰則規定は設けないのか。

答：各主体それぞれの責務を条例に位置づけることで、市はその責務を改めて自覚するとともに、市民及び事業者と一体となって取り組みを進められるよう、規定を設けようとするものである。罰則規定については、差別発言、誹謗中傷といった行為等をなくしていくには、人権課題への認識を深めてもらうことが大変重要だと考え、罰則ではなく教育や啓発による地域社会づくりを進めたいと考えている。

問：市として、人権尊重の取り組みを率先していく考えは。

答：人権尊重のまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、すべての人の人権が尊重されるまちの実現を図るべく、市が率先して市民の皆様の人権を守るという姿勢で進めたいと考えている。

2月 定例会

令和6年2月定例会は、2月29日から3月19日までの20日間の会期で開かれました。
この議会には、市長から条例改正や補正予算など議案が提出されました。また委員会から条例改正の議案（発議）が提出されました。

男女共同参画社会の実現を目指して

議案第2号 海南市男女共同参画推進条例

男女共同参画を総合的かつ計画的に推進し、すべての人が互いの人権を尊重し、自分らしい生き方を選択できる男女共同参画社会の実現を図るため条例を制定します。

こんな質問がありました

問：条例制定の経緯は。

答：家庭内や職場、地域活動などでは、依然として男女の役割分担意識が残っており、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親家庭等の就業面での課題等が浮き彫りになった。このような状況を踏まえ、改めてすべての人が課題を自分ごととして捉え、男女共同参画への理解を深める必要性を強く認識するに至ったことから、条例の制定に取り組んだところである。

問：市民の責務を定めるものであるから、もっと市民を巻き込んだ議論が必要だったのではないかと。今後どのように、市民参加のもとでこの条例を広げていくのか。

答：条例案の作成過程において、学識経験者や男女共同参画関係団体の委員、公募委員など様々な外部委員で構成する海南市男女共同参画推進委員会で、複数回の会議、議論をする中で意見を伺ってきた。条例の制定後は、条例の内容や考え方などについて、より広く市民の皆様にご理解いただけるよう、周知等に努めて参りたい。

シティプロモーション課の新設

海南市の持つ魅力を市内外に積極的に情報発信し、認知度の向上、イメージアップを大目標に、地域価値を高めるための取り組みや、市民に地域の魅力を再認識してもらえるようなPR活動などを企画、推進していきます。

問：今回、新設されるシティプロモーション課では何をするのか。具体的な事業と人事配置は。

答：海南市の広報のメディアにシティプロモーションの視点を戦略的、効果的に取り入れたり、様々なイベント等の機会をとらえ、積極的に情報発信を行う。また場合によっては、県、他の自治体とも連携し相乗効果をねらう取り組みも展開していきたいと考える。こうした方向性のもと人員配置は4名体制を予定している。

問：1年間の単年度で結果が出るように考えているのか、それとも長い目で見ているのか。外部からの採用は。

答：1年ではなかなか結果が出るものではないと考えており、ある程度長いスパンで考えている。現時点では、外部からの採用は考えていない。

その他の機構改革

- 子育て世帯を包括的に支援するため、子育て推進課に「家庭児童相談班」を新設
- 監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会の業務を総合的に行うため「総合行政委員会事務局」を設置
- 消防本部警防課と予防課が統合し「警防課」を設置
- 地籍調査課を廃止（継続事務は管理課へ引き継ぎ）

発議

発議とは議員や委員会から議案等を提出することで、2月定例会では下記1件が提出されました。

発議1号については全会一致で可決されました。

・発議1号海南市監査委員条例の一部を改正する条例

海南市の監査委員2名のうち1名は議員の中から選任するようになっているが、議会運営委員会等で議論を重ねた結果、監査委員はより専門性のある人材に委ね、議会は議会としての監視機能を発揮すればよいとの考えから、今後は議員選出の監査委員を選任しないとの結論に至った。

たい」まちづくりを

令和6年度当初予算可決

総額は485億5,187万1,000円
(前年度比4.6%増)

一般会計 267億5,472万3,000円(前年度比11.8%増)

かいなん家の家計簿(収支計画) ～一般会計を年収500万円の家庭に置き換えてみると～

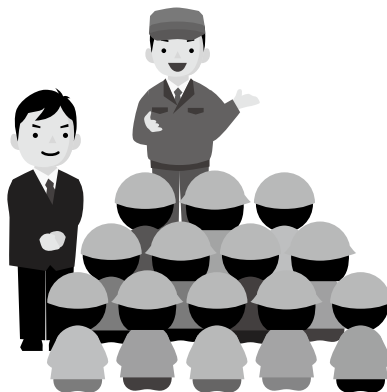
収 入		構成割合	支 出		構成割合
給料	122万円	24.4%	食費	81万円	16.2%
市税(市民税、固定資産税など)			人件費(職員の給与、議員・委員報酬など)		
パート収入	47万円	9.4%	家族の医療費	88万円	17.6%
負担金、手数料、使用料など(保育料など)			扶助費(障害者・高齢者等への支援に必要なお金)		
貯金の取り崩し	4万円	0.8%	光熱水費などの雑費	74万円	14.8%
繰入金(基金を取り崩したお金)			物件費、維持補修費(光熱水費、修繕費)		
親からの仕送り	258万円	51.6%	自治会費	43万円	8.6%
地方交付税、地方譲与税など(国・県を通じて市に入るお金)			補助費など(団体などの活動支援に必要なお金)		
銀行からの借り入れ	69万円	13.8%	子どもたちへの仕送り	51万円	10.2%
市債(公共施設をつくる資金の一部を借り入れるお金)			繰出金(法律などに基づいて他の会計に支出するお金)		
			借入金の返済	59万円	11.8%
			公債費(市債の返済に必要なお金)		
			家の増改築費	98万円	19.6%
			投資的経費(学校や道路などの整備に必要なお金)		
			積立金・その他	6万円	1.2%
			投資・出資金、貸付金、将来に備え積み立てるお金(企業会計等への出資金など)		
合 計	500万円		合 計	500万円	

2月
定例会安定した財政運営を踏まえ
「住み続けたい」「住んでみ

(仮称)体験学習施設建設事業

29,766千円

海南市の歴史を辿り、時代背景とともに過去の災害から、歴史・文化を学び、自然災害の仕組や危険性の実験・体験学習ができる複合型体験学習施設を、海南中央公園内に建設します。



(仮称)中央防災公園整備事業

578,999千円

海南中央公園内の大池の一部及び内池を埋め立て造成し、防災と賑わいづくりの拠点となる都市公園として拡充整備します。令和6年度は、公園施設の整備を進めるとともに、民設運営事業者と協議を行いながら、開園に向けた準備を行います。



適正配置推進事業(中学校)

565,084千円

より良い教育環境づくりのため、下津第一中学校と下津第二中学校を統合し、新中学校の整備を進めます。令和6年度は、既存校舎等の除却工事、敷地かさ上げ工事及び校舎新築設計業務等を行います。

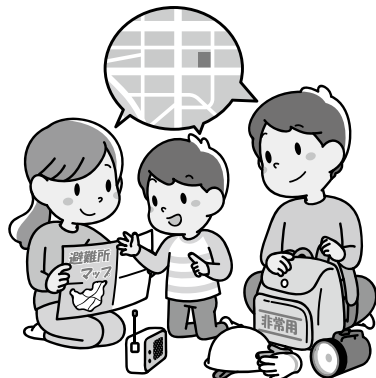


ハザードマップ作成事業

12,082千円

豪雨災害時のリスクを事前に周知するため、洪水浸水想定図の印刷及び水害・土砂災害ハザードマップを作成します。

令和6年度は、小島川・小原川・宮川・市坪川・大窪川・大坪川の6河川を新たに作成対象とします。





〔令和6年度予算〕 予算の使い道や事業内容をチェック

鈴木サミット開催支援事業

150万円

「全国の鈴木さん」に対し本市をPRする活動を支援し、関係人口・交流人口の増加を図るため、鈴木サミットの開催に対し補助を行います。

問

開催日程と概要について、また地域と連携した市民参加のイベントはあるのか。

答

本市が全国有数の名字である鈴木姓のルーツであることを最大限に活用し、全国の鈴木さんに対し、本市をPRするため、地元有志の皆様で構成された、実行委員会が実施する鈴木サミットの開催を支援するものである。令和6年11月に海南保健福祉センターでの開催を予定しており、全国各地の鈴木会を中心に声掛けをし、全国の鈴木さんが集まる交流会や意見交換会、著名人を招いた講演会のほか、市内の観光名所を巡るバスツアーや、市民も参加できるイベントを開催する予定としている。

地域健康づくり事業

166万円

スマートフォン向けアプリを導入し、健康づくりに取り組みます。

問

地域健康づくり（スマートフォン向けアプリ）の事業内容は。

答

健康管理が必要な40歳以上の市民を対象に、スマートフォン向けアプリを活用し、歩く、脳トレ、食事、社会参加などのメニューにより、楽しみながら健康づくりや認知症予防に取り組むことで、達成状況に応じて、日常の買い物に利用できる健康ポイントを付与し、健康習慣や認知症予防の定着を促進する。



議会での提言が
予算や事業方針に
反映されました！

読書活動推進事業

1,179万円

本市の図書購入予算は、1校当たり小学校5万7,250円、中学校8万8,429円であるが、全国平均の小学校47万円、中学校59万円に比べて著しく低い。また、本市の地方交付税交付金試算が小学校約460万円、中学校約303万円であるのに対して、実際の購入予算は小学校68万7,000円、中学校61万9,000円と著しく低い。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、購入予算の増額に努められたい。（令和4年度決算審査に係る意見書）

図書の更新を推進することに加え、新規購入図書については、学校間でローテーションすること、児童生徒の新規購入図書の読書機会を拡充する。また、県立図書館、下津図書館等との連携による図書の団体貸出を積極的に活用することで、児童生徒の読書機会を充実する。

ため池等災害危機管理 対策事業

2,800万円

ため池を廃止するための測量調査設計及び工事のほか、県営ため池等農地災害危機管理対策事業（小野田奥山池、原野中池、沖野々沖谷池、小松原岩屋谷下池、別院観音池、七山新田池）への負担金を支出します。

問 御霊池の廃止について、スケジュールは。

答 御霊池事業については、令和6年度に詳細設計を行い、その成果をもとに、早ければ令和7年度に工事請負費の予算を計上したいと考えている。



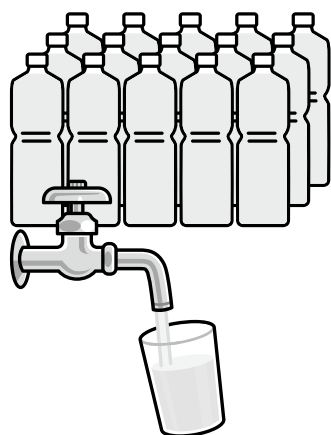
受水槽非常用給水栓 整備事業

440万円

指定避難所において、災害時の飲料水等の確保につなげるため、受水槽に非常用給水栓を整備します。

問 これまでに受水槽に非常用給水栓が設置されている避難所はあるのか。また令和6年度は何力所の整備を想定しているか。受水槽の容量は。

答 令和6年度以降に予定している受水槽非常用給水栓整備事業の対象避難所数は16カ所である。スペースの制約などにより給水栓を設置できない施設を除き、整備を進める予定である。これまでに受水槽非常用給水栓を設置している避難所は5カ所、令和6年度においては、10カ所の整備を予定している。受水槽の容量は、小さいもので7500リットル、大きなもので1万7500リットル、合計で19万2000リットルである。



予防接種事業

16,187万円

学校との連携を図り、あらゆる機会を捉え子宮頸がんワクチンの接種を啓発するとともに、キャッチアップ接種者への周知を強化するなど接種者数の増加に努められたい。（令和4年度決算審査に係る意見書）

令和6年度は、子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種の最終年度となるため、未接種者への個別通知のほか、市広報紙・HPへの掲載及び市内店舗へのポスター掲示を行うとともに、学校を通じたチラシの配付など、教育委員会と連携し接種率の向上に努める。

亀池公園管理事業

229万円

遊歩道やトイレなど観光資源の良好な維持、整備に努め、訪れる方々がより一層の魅力を感じられるよう取り組まれない。（令和4年度決算審査に係る意見書）

来場者が安全かつ快適に利用できるよう、令和6年度は園内照明のLED化に取り組むなど、より安全で利用しやすい環境整備に努めるとともに、引き続き適切な維持管理に努め、来場者に魅力を感じてもらえるよう取り組む。

特別会計

141億4,592万7,000円

特別会計とは、ある特定の目的のために実施する事業について、収支を明確にするため一般会計とは別に経理する会計です。本市には下表のとおり6つの特別会計があります。

会 計 名	令和6年度当初予算額	対前年度伸び率(%)
国民健康保険特別会計	53億1,578万1,000円	△ 5.4
後期高齢者医療特別会計	19億3,196万2,000円	6.8
介護保険特別会計	68億5,004万4,000円	△ 6.6
赤坂地区排水処理事業特別会計	2,126万7,000円	11.1
つつじヶ丘地区排水処理事業特別会計	1,535万7,000円	0.0
港湾施設事業特別会計	1,151万6,000円	△ 56.1

企業会計

76億5,122万1,000円

企業会計とは、事業収益を基本に一部の経費を除いて独立採算で経理する会計です。

会 計 名		令和6年度当初予算額	対前年度伸び率(%)
水道事業会計	収益的支出	10億3,650万9,000円	1.1
	資本的支出	18億3,638万7,000円	△8.3
病院事業会計	収益的支出	43億7,795万6,000円	3.6
	資本的支出	4億36万9,000円	△7.1

※収益的支出…公
営企業の一企業年度
の経営活動に伴い発
生した全ての支出

※資本的支出…公
営企業の将来の経営
活動に備えて行う支
出(建設改良費など)

○議案第22号

反対 もともと他の医療保険に加入できない方が加入している国民健康保険であるのに、国の拠出はわずかで、市民にさらに大きな負担を負わせることで成り立つ予算案に反対する。(溝口 恵敬)

○議案第23号

反対 物価高騰の下、年金は目減りし、昨年10月から医療費の窓口負担も倍増しており、これ以上後期高齢者の負担を増やすべきではない。(溝口 恵敬)

○議案第24号

反対 介護保険制度開始以来、保険料はどんどん引き上げられ、被保険者に対しても、介護労働者に対しても、また事業者に対しても辛い制度になっていく。このような改悪点をそのまま含む予算案に反対する。(溝口 恵敬)

特別会計 国民健康保険特別会計

令和6年度の国民健康保険税率（介護分含む）は所得割合計が 11.7%（前年度比+ 0.1%）、均等割合計が 46,500 円（前年度比+ 700 円）、平等割合計が 31,900 円（前年度比+ 400 円）となります。

こんな質問がありました

問：賦課限度額もこの 15、6 年で大幅に上がっている。厚労省では増税だけではなく、保険者努力支援交付金等の対策も用意している。そのあたりの取り組みについて、どのように考えているか。

答：保険者努力支援事業は、ジェネリック医薬品の普及や特定健診受診率などの指標の達成度に応じて国が財政支援を行う事業で、支援金交付により国保財政の安定化、保険税の抑制等が期待できるため、課としても取り組んでいる。

問：マイナ保険証の利用率の達成の見込みは

答：本市のマイナ保険証利用率は、令和5年 11 月の時点で 4.47%であり、厚労省が掲げる目標の達成については、厳しい状況と認識している。

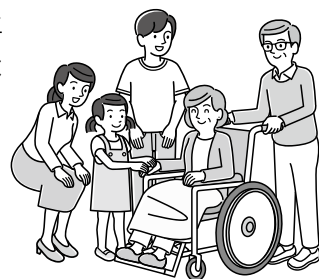
特別会計 介護保険特別会計

令和6年度から令和8年度までの3年間のサービス需要を見込んだ第9期介護保険事業計画に基づき、介護保険料は月額保険料基準額が 6,000 円となり、令和5年度と比較すると月額保険料基準額が 244 円の減額となります。

こんな質問がありました

問：介護保険料について、新たに所得段階が細分化されたが、第 10 から第 14 段階の方は保険料は上がるのか。

答：介護保険制度改正により、低所得者の保険料上昇抑制のため、所得段階の多段階化による高所得者の引き上げが行われ、第 10 段階以上の方については増額となる。



企業会計 病院事業会計

高次病院や地域医療機関との連携をさらに深め、海南・海草地域における急性期機能を果たしていきます。

また、地域の中核病院として、今後も引き続き良質な医療を安定的に提供できるよう人材の確保や育成に努めてまいります。

企業会計 水道事業会計

料金改定により給水収益が増加しますが、引き続き経費の節減に努めるとともに、安全で安定した水道水を供給するため、計画的かつ効率的に施設の更新整備に取り組みます。

予算に関する
討論

○議案第21号

反対

・DXによって自治体の事務が政府に統制され、自治体が独自性を発揮できなくなることが危惧されているなか、その柱である個人番号カードを発行する事業を認めることはできない。

・自衛官募集事務費委託金事業については、法律で費用は国が持つと書かれていながら、金額が足りない。また、個人情報をも市が勝手に外部に提供しており、市民のプライバシー権に関わる重要な問題である。

（溝口 恵敬）

議案の審議結果

◎…全会一致で可決・同意 ○…賛成多数で可決 ×…否決

2月定例会		
議案番号	議 案	結果
議案第1号	海南市人権尊重のまちづくり条例	◎
議案第2号	海南市男女共同参画推進条例	◎
議案第3号	海南市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第4号	海南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第5号	海南市特別会計条例の一部を改正する条例	◎
議案第6号	海南市手数料条例の一部を改正する条例	◎
議案第7号	海南市児童館及び児童会館条例の一部を改正する条例	◎
議案第8号	海南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○
議案第9号	海南市介護保険条例の一部を改正する条例	○
議案第10号	海南市漁港管理条例の一部を改正する条例	◎
議案第11号	海南市営駐車場条例の一部を改正する条例	◎
議案第12号	海南市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第13号	海南市水道事業給水条例の一部を改正する条例	◎
議案第14号	海南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第15号	海南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	◎
議案第16号	令和5年度海南市一般会計補正予算（第12号）	◎
議案第17号	令和5年度海南市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	◎
議案第18号	令和5年度海南市介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎
議案第19号	令和5年度海南市つつじヶ丘地区排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	◎
議案第20号	令和5年度海南市同和対策住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	◎
議案第21号	令和6年度海南市一般会計予算	○
議案第22号	令和6年度海南市国民健康保険特別会計予算	○
議案第23号	令和6年度海南市後期高齢者医療特別会計予算	○
議案第24号	令和6年度海南市介護保険特別会計予算	○
議案第25号	令和6年度海南市赤坂地区排水処理事業特別会計予算	◎
議案第26号	令和6年度海南市つつじヶ丘地区排水処理事業特別会計予算	◎
議案第27号	令和6年度海南市港湾施設事業特別会計予算	◎
議案第28号	令和6年度海南市水道事業会計予算	◎
議案第29号	令和6年度海南市病院事業会計予算	◎
議案第30号	海南市教育委員会委員任命の同意	◎
議案第31号	海南市公平委員会委員選任の同意	◎
議案第32号	海南市税条例の一部を改正する条例	◎
発議第1号	海南市監査委員条例の一部を改正する条例	◎

議案第1号 関連記事4ページ 議案第2号 関連記事4ページ 議案第3号 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正に伴い、所要の整備を行うもの 議案第4号 育児休業をしている会計年度任用職員への勤勉手当の支給について定めるもの 議案第5号 同和対策住宅資金貸付事業特別会計を廃止するもの 議案第6号 狂犬病予防法に基づく犬の登録等に係る手数料及び液化石油ガスの保安の確保及び取り引きの適正化に関する法律に基づく貯蔵施設等の完成検査手数料について、所要の改正を行うもの 議案第7号 令和6年4月より、東畑南部児童会館、東畑北部児童会館及び多田児童会館を廃止するもの 議案第8号 国民健康保険税の課税額の見直しを行うもの 議案第9号 令和6年度から令和8年度までの介護保険料率及び基準所得金額を定めるもの 議案第10号 漁港漁場整備法の改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの 議案第11号 海南市営海南駅北駐車場について、駐車時間24時間の上限料金を改定しようとするもの 議案第12号 地方自治法の改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの 議案第13号 水道法の改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの 議案第14号 地方自治法の改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの 議案第15号 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額を改定するもの 議案第16号 総額8億4,698万円の増額補正 議案第17号 総額7,041万8千円の増額補正 議案第18号 総額1億7,031万円の増額補正 議案第19号 総額207万1千円の増額補正 議案第20号 総額6万6千円の減額補正 議案第21号 関連記事6～9ページ 議案第22～29号 関連記事10～11ページ 議案第30、31号 任期満了となる委員の後任者を任命・選任するため、同意を求めるもの 発議第1号 関連記事5ページ

賛否の分かれた議案等

○…賛成 ×…反対

議案番号等	会派・議員名	公明党		日本共産党 海南市議会議員団		無所属の会・日本維新の会		市政クラブ			市民クラブ							自由クラブ		結果
		中家悦生	森下貴史	岡義明	溝口恵敬	古田充司	熊野愛子	栗本量生	田村秀明	宮本憲治	寺脇寛治	川崎一樹	榊原徳昭	米原耕司	池原弘貴	杉本博美	橋爪大輔	川口政夫	東方貴子	
議案第8号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

●議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

海南市教育委員会委員に任命された方	中山佳子 氏
海南市公平委員会委員に選任された方	森下順司 氏



議論

○議案第1号

賛成 新しい条例制定を機に抜本的に自分自身と他人の人権が守られるまちにしていけるような取り組みが展開されていくことを期待する。
(溝口 恵敬)

○議案第2号

賛成 身体的な性、あるいは性自認によって、社会からどんな差別も受けることが無いようにすることを目指すべきである。一人一人の市民が、自分を認め、自信を持って生きていける海南市になることを願っている。
(溝口 恵敬)

○議案第8号

反対 ・すべての海南市民の被保険者にとって増税となる改正である。
・海南市民の被保険者の年間所得は200万円以下が78.8%、100万円以下が51.2%と著しく低い。
・後期高齢者医療保険料、介護保険料と3つの保険料の同時負担増、増税となり、市民に酷である。
・前回の議会で、市長、議員、正規職員の報酬給与を増額した直後に市民の増税を求めるのはおかしい。
反対理由は4つ、以上の理由で増税に反対する。(宮本 憲治)

○議案第9号

反対 今回の条例改正は、低所得者層の支払額がわずかに減額となる一方で、単価額等が引き上げとなり、結果として国保加入世帯すべて値上がりとなるため反対する。
(溝口 恵敬)

一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問したり、提言することで、政策の見直しなども行われます。
2月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。



ここが聞きたい!!
6人が市政を問う

- 1 岡 義明 (15ページ)
 - ・高齢者補聴器助成制度について
 - ◎学校給食の無償化について
 - ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について
- 2 池原 弘貴 (15ページ)
 - ◎有害鳥獣対策について
- 3 東方 貴子 (16ページ)
 - ・特定空き家と管理不全空き家について
 - ・給食費無償化について
 - ◎災害に備えて
- 4 田村 秀明 (16ページ)
 - ◎海南駅東土地区画整理事業の水路計画について

- 5 森下 貴史 (17ページ)
 - ◎身寄りのない高齢者サポートについて
- 6 溝口 恵敬 (17ページ)
 - ◎6月災害をどう生かすかについて
 - ・津波からの避難について
 - ・液状化について
 - ・スフィアガイドラインについて
 - ・消火活動困難区域の対策について



※ ◎の質問の概要を掲載しています。

県補助を活用し給食費完全無償化を

● 県の補助金は本市として歓迎である



録画映像



岡 義明

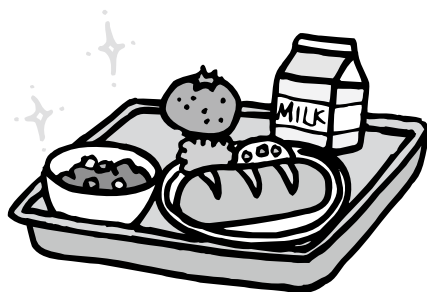
問

和歌山県は令和6年度予算(案)に「小中学校の給食費を既に完全無償化している市町村又は、今後完全無償化を実施する市町村に限り、最大2分の1の補助を今年10月から行う」との報道があった。

今回の県の予算(案)は、県下全ての自治体で、学校給食費の完全無償化に移行することを想定し、7億3千万円が計上されるとのことである。

今回は本市としても県の補助金制度を活用し、小中学校の給食費を完全無償化するように求めるものである。市長としての英断はどうか。

答 県の学校給食費の無償化については、県が「詳細を制度設計していく」ということで、本市担当とのヒア



リングが始まったところである。県は2分の1を上限に補助するということであり、本市としては歓迎である。今年10月からの実施及び、令和7年度以降についても2分の1補助を約束していただけるのかも含め検討、協議してまいりたい。



池原 弘貴



録画映像

有害鳥獣対策の成果は出ているか

● 一定の効果は出ていると考える

問

有害鳥獣被害の実態と対策内容と成果はどうなっているか。

答

田畑を荒らすことにより、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加など全国的な課題となっている。被害対策については、防護柵や電気柵の設置経費の一部を支援。他に捕獲報奨金の支給や狩猟免許取得に補助金を出しており、捕獲頭数が増加するなど成果が出ている。

問

捕獲した猪や鹿は、大半が土に埋めたり焼却処分されているのが現状。ジビエは正しく処理すればおいしく食べることが出来る。ジビエ資源の活用についてはどうか。

答

一部だが、田辺市にあるジビエ加工業者が市内の捕獲された現場まで猪を取りに来るケースもある。

問

最近、農家や近隣住民の方々からアナグマによる被害を聞くようになった。みかんや果物・野菜などを食い荒らしている。市街地でも家の下に穴を掘って巣を作りその巣は年々大きくなっていき、最悪の場合、建物の崩落に繋がる可能性もある。アナグマの被害状況と捕獲許可の検討はしているか。

答

アナグマの農作物への被害は一部報告されているが、他の有害鳥獣より少なく、捕獲許可に至っていない。今後、農作物の被害状況を見ながら慎重に検討したい。



避難所のトイレの洋式化率は

●小中学校で40%

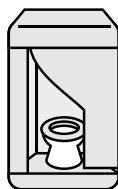


録画映像



東方 貴子

- 問** 災害時、高齢者にとって和式トイレは使いづらい。避難所になる小中学校や公民館のトイレの洋式化率はどのようになっているか。
- 答** 指定避難所のうち小中学校は40%、公民館は48%になっている。
- 問** 断水時、トイレの水の確保についてはどうなっているか。
- 答** 市内52避難所のうち36避難所には井戸や災害時用の掘り抜き井戸、あるいは1000ℓまたは2000ℓの雨水タンクを整備している。
- 問** 簡易トイレの備蓄数は。
- 答** 簡易トイレを166台、トイレ袋を7万8390枚備蓄している。災害時協力井戸の数は。
- 問** 市に登録いただいている井戸は19本
- 問** 登録を増やす考えはあるか。
- 答** 災害時の生活用水確保のため、井戸は有効である。今後積極的に広報紙やホームページ、出前講座を通じ登録を呼びかける。
- 問** 各家庭の雨水タンク設置に補助金を出す自治体も多いので参考にして頂きたい。
- 答** トイレ袋はどのようにして使用する想定か。
- 問** 洋式トイレの便座等にかぶせて使用する。
- 答** それならもっと洋式化を進めて頂きたい。簡易トイレ数が少ないと思うが。
- 問** 不足の際は、国や県、協定締結事業者から供給を受けることを想定している。



区画整理地区内に南北に走り 河川本流に導く排水路が必要では

●シミュレーションで被害想定を確認して、一手法として検討したい



田村 秀明



録画映像

- 問** 昨年6月2日の豪雨では、海南駅西側と比較して標高の高い駅東側の区画整理地区の浸水被害が大きかった。その現象に関し、その当局的把握は。また、保水力低下の検証の観点から現行農地の割合を聞く。
- 答** 鉄道高架下付近で地盤が高くなっているのが駅東区画整理地区に水が滞留したと考える。また、施工前の農地の割合は約34%である。
- 問** 開発により、34%の農地の保水力低下が懸念される。また、計画されている3本の東西に走る水路は、下流地区の水路に負担をかける。問題解決には南北に走り、区画整理地区内から直接河川本流に導く排水路が必要ではないか。
- 答** 内水浸水シミュレーションを行い、流下能力、被害想定、保水力の低下も加味して効果的な対策方法の検討を深める。区画整理地区内から直接河川本流へ導く排水路も対策の一手法として検討する。



終活情報登録伝達事業の導入を

● 取り組みの研究を進める



録画映像



森下 貴史

- 問** 高齢者が増加する中で、終活支援が非常に重要となっているが、市の現状はどのようなになっているか。
- 答** 地域包括支援センターの総合相談窓口において、支援を必要とする高齢者に対し適切な支援につないでいる。
- 問** 家族や親しい人へメッセージを書き残す終活ノートを配布している自治体も増えているが、市の取り組みはどうか。
- 答** 地域包括支援センターでは希望者に配布させていただくとともに、エンディングノートの書き方を含めた老い支度のテーマの講演会を実施している。
- 問** 40代、50代の方の相談はどのようなになっているか。
- 答** 相談対応やノートの配布など必要な



- 支援をさせていただきたいと考える。
- 問** ある自治体では終活情報登録伝達事業として、事前に作成しておいた終活情報が適切に利用されるように、希望する市民を対象に終活関連情報を登録する制度を設けているが、このような制度を市でも導入してはどうか。
- 答** 先行自治体における取り組みの検証や課題への対応策の検討など、終末期の不安解消につながる取り組みの研究を進めていく。



溝口 恵敬



録画映像

下津行政局周辺の浸水について

● 水がスムーズに流れ出すよう改良していく

- 問** 下津行政局周辺では大きな浸水被害があったが、この辺りの水はどこからどう流れてきたのか調査をしているか。また、その結果はどうか。
- 答** 昔から浸水被害に見舞われてきた低地域である。合併後も合併後もさまざまな浸水対策を行ってきたことで、一定の効果が見られた。しかし、6月豪雨では、加茂川の水位が過去にない高さまで上昇したことで、下津行政局周辺の水が加茂川に排水できなくなった。加えて竹田川の水が県道からJRまでの開渠部からあふれて流れ込んだため、下津行政局周辺の広い範囲が、これまでになく浸水被害に見舞われたものと考えている。
- 問** 付近の住民の方から、竹田川では川



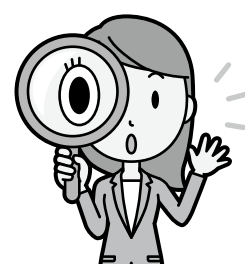
- から水が噴き出しているという証言があるが、届いているか。
- 答** 周辺の方などが撮影した画像や動画、また、職員が聞き取った内容等から状況を把握している。
- 問** 市民は同じことが起きるのではないかと心配されているが、対策は考えているか。
- 答** まずは県と調整して、加茂川に接続しているところで水がスムーズに流れ押し出すように護岸の改修等を行いたいと考えている。



大津市役所にて

先進地視察報告

他市等の先進事例を学び、今後の市政に生かすため、各委員会が行政視察を行いました。



議会運営委員会

「視察先」愛知県新城市 滋賀県大津市

「日程」2月1日から2月2日

テーマ
・若者議会、女性議会について
・委員会のオンライン開催、

タブレットの活用について

新城市では、若者を取り巻くさまざまな問題を若者たちが考え、話し合う若者議会を設置しています。この若者議会は予算提案権を持ち、予算の使い道を若者自らが考え政策立案します。さらにそれを市長に答申し、市議会の承認を得て、実施されています。また、市民の多様な参加の機会の1つとして、女性が活躍できる社会の実現を目指し、市政への参画を推進するために女性議会を毎年、開催しています。

大津市議会では、コロナ禍でも議事運営を継続する手段として、実践的にオンライン会議システムを活用した委員会運営に取り組み、これまで何度もオンライン形式で委員会を開催されています。新城市、大津市の取り組みについては、本市議会においても参考すべきと考えます。

議会広報委員会

「視察先」大阪府八尾市

「日程」2月8日

テーマ
議会SNS・広報編集について

八尾市では、多くの市民の方に議会の活動を知っていただき、興味を持っていただくことを目的に、公式SNS（X(旧ツイッター)及びフェイスブック）を開設し、幅広い手段で情報発信しています。また、中核市議会会報コンクールにて、最優秀賞、審査員特別賞を受賞しており、広報紙編集方法についてご教示いただきました。



八尾市役所にて

研修会を開催しました

議員研修会

2月9日、地方議員研修会総括コンサルタントの川本達志氏をお招きして、「地方議員のための質問力向上」をテーマに研修会を実施しました。

研修では、政策提案型の一般質問など具体例を交えながら、議員がどのように政策を実現していくかなどについて解説していただきました。



海南市役所 第1委員会室

海南・海草議会議員連絡協議会研修会

海南市・紀美野町の全議員で構成する海南・海草議会議員連絡協議会では、「海南・海草地域の活性化と地域づくり」を運動目標に掲げ、広域的な課題について調査・研究を行うべく活動しています。

今年度は具体的な取り組みの一環として、空き家の予防と活用について、2月13日、横浜市立大学国際教養学部教授の齊藤広子氏をお招きして、「古民家を活かして地域を魅力的に」をテーマに研修会を実施しました。



海南市役所 第1委員会室

市議会ホームページ

ホームページでは、市議会の日程や議案などの情報を掲載しています。また、会議録を閲覧いただけるほか、本会議の生中継や委員会の録画映像の配信（約10日後から）も行っていますので、ぜひご利用ください。

市議会だよりへのご意見をお聞かせください

よりよい紙面とするため、議会だよりに関する皆さま方のご意見等をお寄せください。

6月定例会の予定

市議会の定例会は年4回開催され、**次回の6月定例会は6月5日（水）に開会する予定です。**

市議会では、市民の皆さまの生活に密着したさまざまな問題が審議されています。市政を知る機会にもなりますので、ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

なお、日程は変更することがありますので、傍聴を希望される場合や本会議の生中継をご覧になる場合は、お手数ですが議会事務局まで日時をお問い合わせください。

海南市議会事務局 〒642-8501 海南市南赤坂11番地
TEL/073-483-8700 FAX/073-483-8703
Eメール/gikaij@city.kainan.lg.jp
HP/<https://www.city.kainan.lg.jp/kakubusho/gikaijimukyoku/index.html>



ホームページ二次元コード



Facebook二次元コード

耐久高校硬式野球部が表敬訪問

2月19日、中家議長が、令和5年度秋季近畿地区高校野球大会でベスト4という成績を収められた耐久高校硬式野球部2名の表敬訪問を受け激励しました。耐久高校硬式野球部は、3月18日から阪神甲子園球場で開催された「第96回選抜高等学校野球大会」に出場しました。



今回号の編集が最終です。



市議会だより「かいなん」の議会広報委員として、令和4年8月号（No.70）から携わってききましたが、現在の議会広報委員会メンバーでの発行は、この5月号（No.77）が最終となり、次回号からは新メンバーにバトンを託します。

これからも「市議会だよりかいなん」、「海南市議会フェイスブック」をよろしくお願いいたします。
海南市議会広報委員一同